

# 2022年3月期 第1四半期決算

2021年7月28日



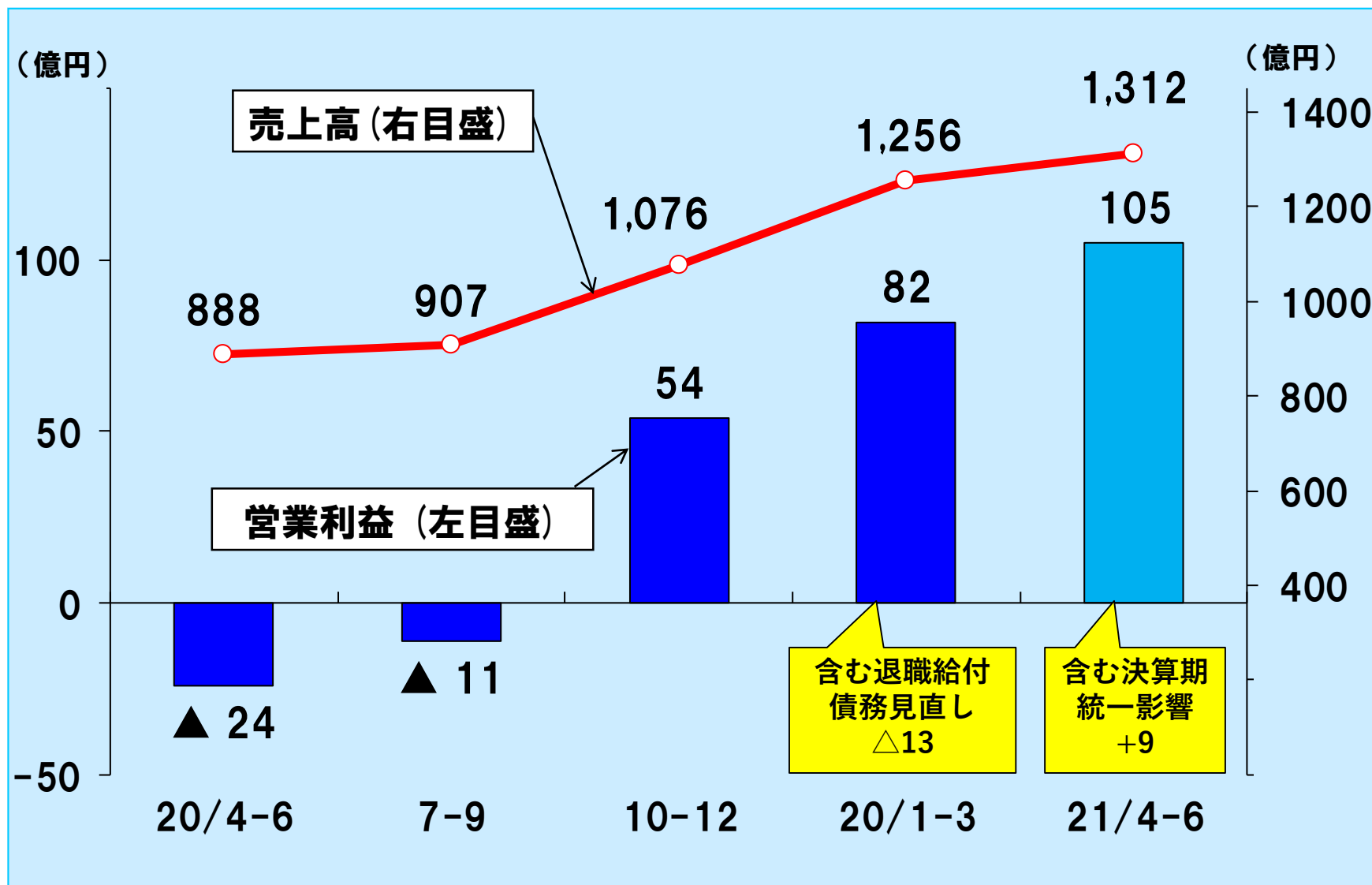
# 21/4-6実績の概要

(億円)	20年度 4-6実績	21年度 4-6実績	前年同期比
売上高	888	1,312	+424
営業利益	▲24	105	+129
経常利益	▲17	118	+135
当期利益(※)	▲16	76	+92

※:親会社株主に帰属する四半期純利益

- 新型コロナウイルスの影響により大幅な需要減となった昨年から回復。自動車向けを中心に需要堅調、足元ではフル生産が継続。
- 鉄スクラップ高騰によるリスク要因あるも、数量面は今後も堅調に推移する見通し。

# 売上高・営業利益 実績推移(四半期)



# 21/4-6 営業利益の変化要因(前年同期比)

(億円)

20/4-6 営業利益		▲24	
前年度対比変化	原燃料市況	-74	
	数量変化		+139
	価格変化		+23
	内容差他		+29
	変動費		+20
	固定費	-17	
	決算期変更		+9
	合計	-91	+220
21/4-6 営業利益		105 (+129)	

## 変化内訳

### 原燃料市況

- ・鉄屑を中心にコスト悪化。

### 数量変化

- ・自動車の生産回復に伴い、全ての製品群で数量増加。

### 価格変化

- ・鉄屑/合金サーチャージによりプラス。
- ・スライドギャップ影響は△15

### 内容差他

- ・工具鋼回復、半導体向け伸長。
- ・エンジニアリングは厳しい局面継続。

### 固定費

- ・生産の回復に伴い発生費用増加も、経費削減は継続。

# ■ セグメント別売上高・営業利益(前年同期比)

(億円)

		20年度 4-6実績 (A)	21年度 4-6実績 (B)	前年度差 (B)-(A)
特殊鋼鋼材	売上高	288	465	177
	営業利益	▲ 19	10	29
機能材料・磁性材料	売上高	329	479	150
	営業利益	12	71	59
自動車部品・ 産業機械部品	売上高	175	249	74
	営業利益	▲ 24	20	44
エンジニアリング	売上高	40	37	-3
	営業利益	2	▲ 4	-6
流通・サービス	売上高	56	82	26
	営業利益	5	8	3
合計	売上高	888	1,312	424
	営業利益	▲ 24	105	129

鋼材売上数量(単体)

174 千t

322 千t

148 千t

# 21/4-6主要セグメント営業利益変化 (前年同期比)

(億円)

セグメント			特殊鋼鋼材		機能材料 磁性材料		自動車部品 産業機械部品		エンジニア リング	
20/4-6営業利益			▲19		12		▲24		2	
前 年 同 期 対 比 変 化	営 業 損 益	原燃料市況	-61		-11		-2			
		数量変化		+58		+46		+35		
		価格変化		+14		+9				
		内容差他		+23		+11				-6
		変動費		+9		+8		+3		
		固定費	-15		-5		+3			
		決算期変更		+1		+1		+5		
		合 計	-76	+105	-16	+75	-2	+46	-6	
21/4-6営業利益			10 (+29)		71 (+59)		20 (+44)		▲4 (-6)	

# ■ セグメント別売上高・営業利益(四半期推移)

(億円)

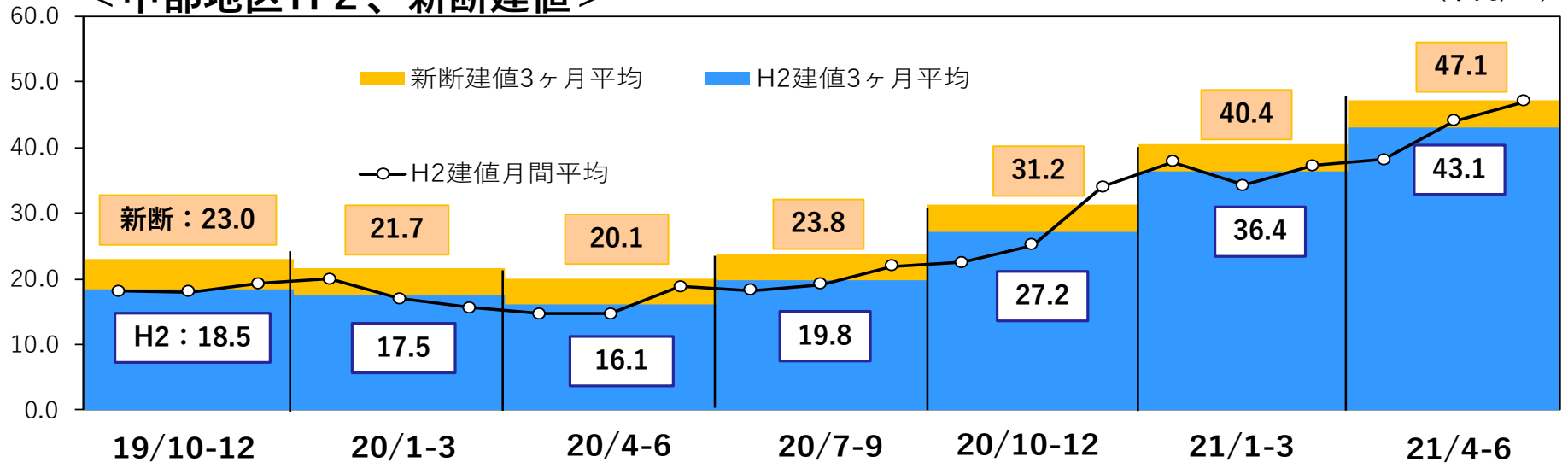
		20年度				21年度 1 Q (実績)	前Q 差
		1 Q (実績)	2 Q (実績)	3 Q (実績)	4 Q (実績)		
特殊鋼鋼材	売上高	288	310	392	468	465	-3
	営業利益	▲ 19	▲ 11	9	▲ 5	10	+15
機能材料	売上高	329	319	387	459	479	+20
	営業利益	12	10	35	65	71	+6
自動車部品	売上高	175	186	219	228	249	+21
	営業利益	▲ 24	▲ 17	6	14	20	+6
エンジニア	売上高	40	63	44	55	37	-18
	営業利益	2	3	▲ 0	3	▲ 4	-7
流通・	売上高	56	29	34	46	82	+36
	サービス	5	4	4	5	8	+3
合計	売上高	888	907	1,076	1,256	1,312	+56
	営業利益	▲ 24	▲ 11	54	82	105	+23

鋼材売上数量(単体)                      174 千t      204 千t      275 千t      325 千t      322 千t      -3 千t

# 原料市況(鉄スクラップ・ニッケル)

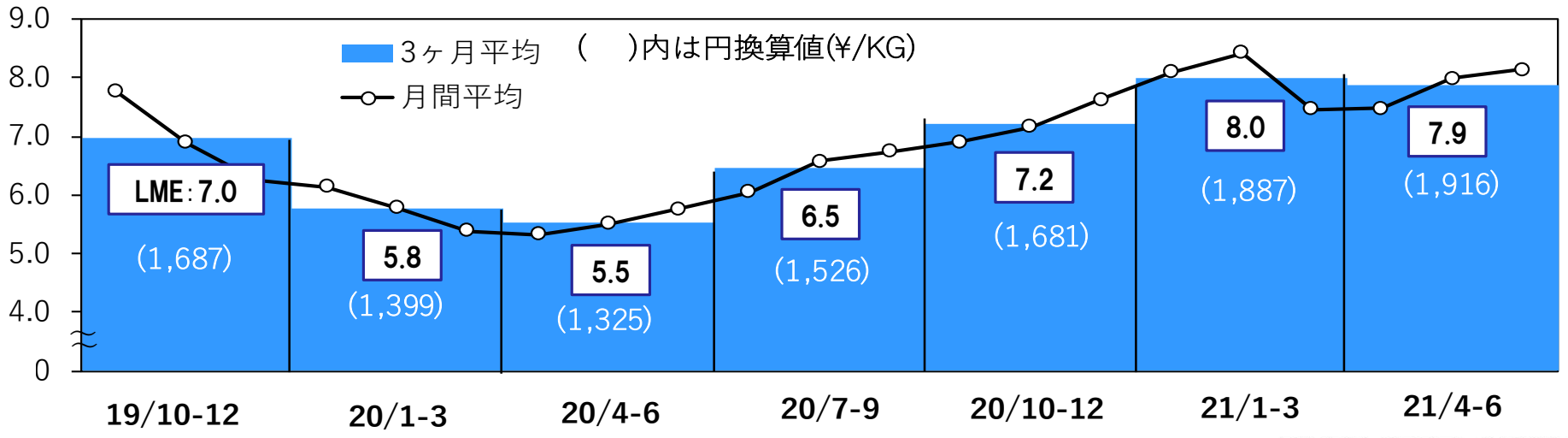
## < 中部地区H2、新断建値 >

(千円/トン)



## < ニッケルLME価格 >

(\$/LB)





# 21/4-6 市況実績

	単位	21/4-6 当初計画	21/4-6 実績(計画差)
鉄スクラップ 上段:中部H2建値 下段:中部新断建値	千円/t	38.0	43.1 (+5.1)
		42.0	47.1 (+5.1)
ニッケル (LME)	\$/LB	8.5	7.9 (-0.6)
原油 (ドバイ)	\$/B	60.0	66.2 (+6.2)
為替レート (TTM)	円/\$	105.0	110.5 (+5.5)

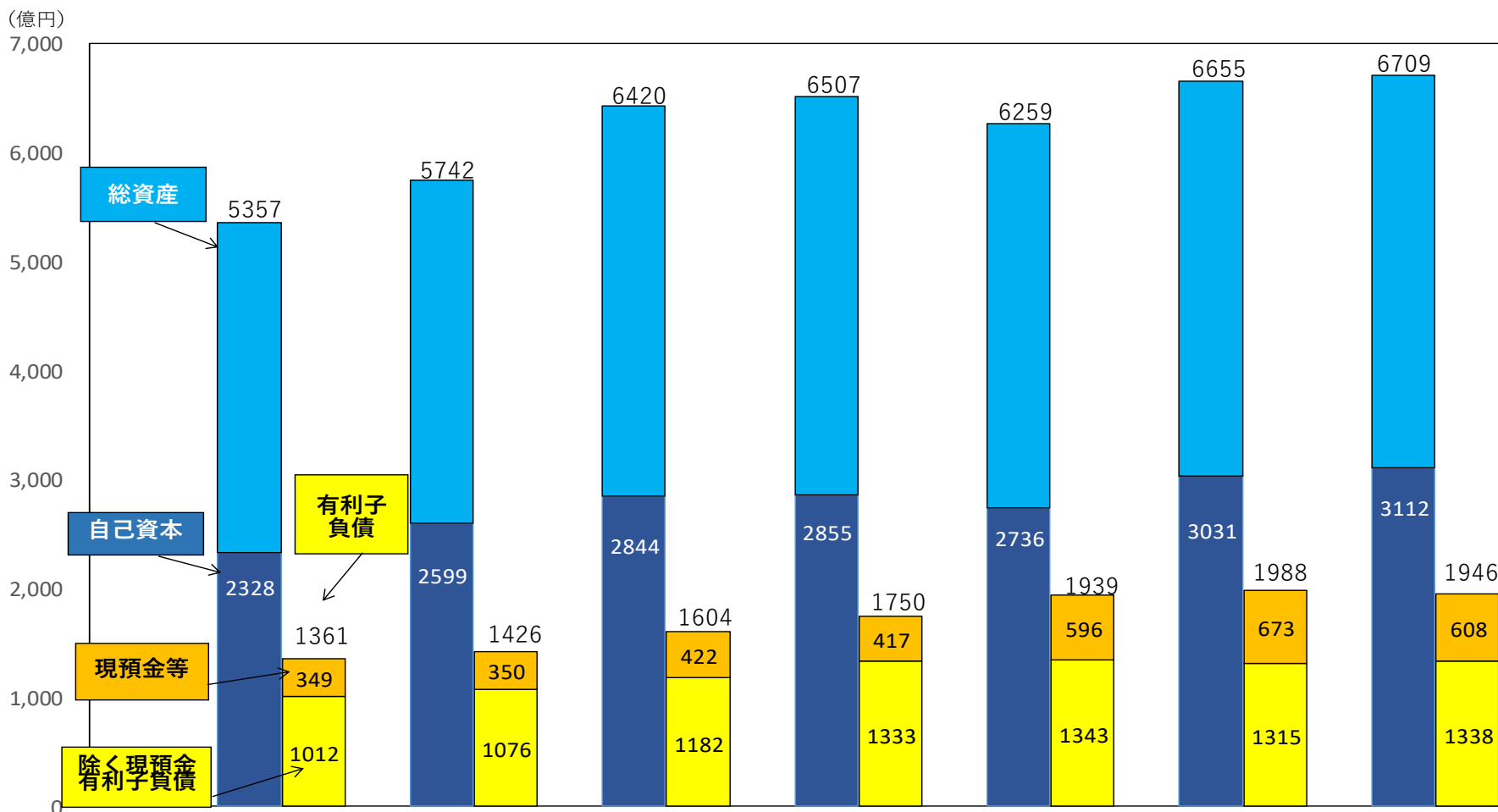
# 21/4-6 経常利益・当期純利益について

(億円)

<b>営業利益</b>	<b>105</b>
<b>営業外収益・費用</b>	<b>13</b>
<b>経常利益</b>	<b>118</b>
<b>特別損益</b>	<b>0</b>
<b>法人税ほか</b>	<b>▲42</b>
<b>当期純利益<sup>(※)</sup></b>	<b>76</b>

※:親会社株主に帰属する四半期純利益

# ■ 総資産、有利子負債、D/Eレシオ



	16/3	17/3	18/3	19/3	20/3	21/3	21/6
ROA	4.5%	4.8%	5.9%	5.3%	3.8%	2.0%	7.1%
D/E	0.58	0.55	0.56	0.61	0.71	0.66	0.63

## (注記)

**本資料に記述されております業績見通し等の数値につきましては、現状で判断しうる一定の前提に基づいております。**

**今後発生する状況の変化によっては異なる業績結果となることも予想されますので、投資等の判断材料として全面的に依拠されることは差し控えて頂きますようお願いいたします。**

**また今後予告なしに予想数字が変更されることがあります。本資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、各自の判断と責任において使用されるものであり、本資料にある情報の使用による結果について、弊社は何らの責任を負うものではありませんのでご了承ください。**